

昭和六十二年七月二十二日提出
質問 第七号

海上自衛隊下総基地に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

昭和六十二年七月二十二日

提出者 新村 勝雄

衆議院議長 原 健三郎 殿

海上自衛隊下総基地に関する質問主意書

海上自衛隊下総基地の機能、施設等について次の各項にお答え願いたい。

一 同基地には近く対潜哨戒機P_ωCが配備される予定であり、そのための滑走路改修が行われた。これにより、下総基地は、教育訓練だけでなく、哨戒機の発進が行われ、作戦基地としての機能を帯びるに至るものと思われるが、どうか。

二 同基地に貯蔵されている弾薬は、同基地訓練隊だけのものではなく、全国の部隊に配分されるものと言われているが、この件について次の諸点にお答えいただきたい。

- 1 ここでいう弾薬とは、陸、海、空三自衛隊のものか、海自のみのものか。
- 2 海自の場合、それは対潜航空機のものだけか、それとも艦艇のものも含むのか。
- 3 対潜航空機のみの場合、貯蔵されているのは、次の兵器のうちいずれであるか、該当する

ものを示されたい。

イ 魚雷

ロ 対潜爆弾（爆雷）

ハ 対潜ロケット

ニ 対潜ミサイル

ホ 機雷

4 その他の隊の兵器、弾薬が貯蔵されている場合その種類は何か。

5 貯蔵されている弾薬は、主にどの方面の部隊に供給するのか。

6 同基地の弾薬類は、戦略的備蓄のためのものか。

7 全国にある弾薬貯蔵施設の所在地を一覧表によつて示されたい。

右質問する。